

第1回岐阜羽島警察署協議会

御意見御要望に対する回答

令和4年6月16日

岐阜羽島警察署

1 ○委員 男性（笠松町）

【交通課】

道路環境の維持・管理について

安全な道路事情であるかどうかは交通事故の発生にも関係し、人の安心安全に影響を及ぼすことであり、道路環境の維持・管理は重要な課題。

そこで気になることは

- ・ 道路端・歩道に草が繁茂しているため、それを避けた自転車や歩行者が車道にはみ出す
- ・ 降雨時、道路に出来た轍に水がたまり、歩行者に水がかかる
- ・ 道路舗装が劣化し一部に凹みが生じて、車がそれを避けている
- ・ ガードレールが破損しているが、なかなか修繕されない場所

などがあります。

警察としてパトロール活動等により管内の道路事情などを入手した場合の道路環境の維持管理にかかる警察としての動きや他機関とのつながりはどうなっているのか。

道路設置者との連携・協同について現状や課題を共有したい

【回答】（交通課長）

道路脇の雑草や道路の劣化など、交通の安全に影響がある状態を確認した場合は、道路管理者に補修の申し入れをするなど連携して対応しております。

ただ、道路が陥没するなど交通事故に直結するような緊急の場合を除いては、道路管理者が緊急性や必要性を判断して、順次修繕を実施していますので、修繕に時間がかかっている箇所があるのも現状です。

交通の安全や道路管理に関しましては、道路管理者と合同で危険箇所や重大事故発生場所などの現場確認を実施し、有効な安全対策等を検討して改良に繋げるよう努めていきます。修繕を依頼しても修繕に時間を要している箇所があるのが課題として挙げられますが、今後も、道路管理者と連携して、道路の危険箇所等について早期に修繕ができるよう努めて参ります。

【地域課】

地域と共にある身近な警察の活動の在り方について

地域に身近な警察としての「交番」の存在は大きく、地域住民の暮らしの安全を守

るために日々様々な活動をしていると思いますが、交番勤務の警察官の人数も限られており、活動範囲も広いことから「顔の見える活動」を展開するのは、なかなか難しいと思います。

「交番と地域の近い関係づくり」は地域住民の安心安全意識の向上につながるもので大切にしていって欲しい。

「顔の見える活動」として

- ・ どんな取り組みをしているのか
- ・ 今後さらにやっていこうとしているものはあるのか

を共有化したい。

【回答】（地域課長）

地域警察官の業務は多岐にわたりますが、その中でも、「顔の見える活動」は、具体的なものとして、

- ・ 警ら、立番、立寄り、交通監視
- ・ 交番・駐在所連絡協議会等の地域行事

や、

- ・ 巡回連絡 各警察官が一軒一軒ご自宅を訪問、家族や緊急連絡先、要望等を聞く活動

等が挙げられます。

新型コロナウイルスの感染予防対策として、約2年間「巡回連絡」は自粛しておりましたが、

4月から再開しておりますので、今後は重点的に巡回連絡を実施して、地域住民の方との良好な関係を構築し安全安心に繋げていきたいと考えております。

2 ○委員 男性（柳津町）

【交通課】

運転者の運転前後のアルコールチェック「義務化」について

「R4. 4から運転者の酒気帯びの有無を確認及び酒気帯びの有無を記録して1年間保存」

「R4. 10からアルコール検知器を使用して確認」

上記の道路交通法改正について知らない事業所もあることから、今後岐阜県警又は岐阜羽島警察署で周知活動を行う予定はあるのか？

また、アルコールチェッカーでの検査について、朝に職場に顔を出さずに現場へ直行直帰する従業員については、どのように確認すればよいか。

参考ですが、アルコールチェッカーは中国製がほとんどで、現在の世界規模な半導体不足でアルコールチェッカーの入手も困難になってきています。10月に間に合わない事業所も出てくるかもしれません。

【回答】（交通課長）

現在、警察庁と各都道府県の連名でアルコールチェックの義務化について「事業所の飲酒運転根絶 取組強化」と題したポスターを掲示、チラシの配布などで広報を実施しています。

安全運転管理部会からも事業者に対して冊子やパンフレットを通じて広報を行っています。

当署としましては、10月からのアルコール検知器を使用しての確認についてホームページに掲載し広報していますので一度ご覧いただきたいと思いますし、今年度実施する安全運転管理者講習の場と事業者向けの交通安全講話の場で広報を実施し周知を図っていきます。

直行直帰に関しましては、出先用のアルコールチェッカーを用意して検査し、電話等で確認し記録化するなどの措置で対応していただきたいと思います。

アルコールチェッカー不足については、本部交通部の方に情報提供としてあげさせていただきます。

3 ○委員 男性（羽島市）

【交通課】

最近気が付くことで

- ・ 信号機のない横断歩道で歩行者がいる場合、車の停車が多くなった
- ・ 歩行者信号が点滅し始めると、通学中の学生がしっかり止まって次の青信号を待っている

などの姿がある。

交通教育等の広報活動の効果を感じられることから、今後も積極的な広報活動を行ってほしい。

【回答】（交通課長）

ありがとうございます。

これまで、小学校の交通安全教室で安全な横断歩道の渡り方などについて広報

してきたことが浸透し、また、車の運転手の方に対する歩行者優先との広報や、横断歩道での歩行者妨害の取り締まりを集中的に行ってきたことで歩行者優先の意識が定着してきたと考えています。

また、参考ですが、横断歩道の停止率を J A F が調査を実施し、

令和 1 年 全国平均 1 7 . 1 % 岐阜県 1 6 . 0 % (全国 2 4 位)

令和 2 年 全国平均 2 1 . 3 % 岐阜県 1 9 . 7 % (全国 2 5 位)

令和 3 年 全国平均 3 2 . 7 % 岐阜県 3 5 . 5 % (全国 1 7 位)

と発表されています。

横断歩道の停止率は年々向上している状況で、岐阜県は、昨年、全国平均を上回る数値となっていますが、今後も引き続き、交通取締り、交通教育、広報活動を実施し、横断歩道での交通事故防止に尽力してまいります。

【生活安全課】

不法投棄について

堤防や道路脇に不法投棄物に自治体と警察の連名のシールが貼付されているが、もし不法投棄を発見した場合は自治会と警察どちらに連絡をするべきか

【回答】（生活安全課長）

自治体と連携を取りながら対応していくのでどちらでも問題ありません。警察は土日休日も体制を整えているので警察に連絡をしてもらえれば対応させていただきます。

4 ○委員 男性（羽島市）

【交通課】

受付業務について

平日は仕事で提出できないという声があり、土曜日だけでも受付業務をできないか

【回答】（交通課長）

運転免許証の住所変更や車庫証明などの受付業務につきましては、警察庁や警察本部とのデータ送受信が必要となりますが、土曜日を含む休日は、データの送受信ができないため対応出来ないのが現状となります。何卒ご理解をお願いしたいと思います。

【交通課】

道路使用許可の受付を土曜日をお願いできないか

【回答】（交通課長）

ご要望を承り、本部とも情報共有し対応策を検討しますが、現状の対応に何卒ご理解をお願い申し上げます。

【交通課】

羽島市江吉良町地内竹鼻町鍋屋信号機交差点先の交差点で、交通事故が多いため、何らかの方策検討はできないか

【回答】（交通課長）

ご指摘の箇所について過去 3 年間の交通事故の発生状況は、
人身事故 0 件 物損事故 7 件（出会い頭事故… 4 件）
でした。

現場確認を実施して、効果的な方策について検討させていただきます。

【交通課】

交通設備障害について

上中町地内の高速道路沿線付近に設置された交通設備（カーブミラー）で、高速道路のり面にある樹木等で視認性が悪くなっているところが多数ある

【回答】（交通課長）

現場を確認させていただいて、交通設備への影響状況を把握の上で関係機関と連携し改善を図ります。

5 ○委員 女性（柳津町）

【交通課】

通学路の白線が消えたままになっている箇所があるので、塗り直してもらえないか。

【回答】（交通課長）

具体的な場所を確認させていただき、関係機関と連携して対応させていただきます。

なお、白線の補修は

市町道路は各自治体

県道・国道の一部は岐阜県土木事務所

国道は岐阜国道事務所

が管理となっています。

【生活安全課】

固定配置の見守り活動ではなく、通学との危険個所の確認、正しい順路の確認も含めて警察官と一緒に登校又は下校をするなどの企画はできないか。

子供にとって警察官はヒーローなので、年に数回でも考えていただけないか。

【回答】（生活安全課長）

警察による児童・生徒の見守り活動は、パトカーによる流動警戒や、交通の要所等における固定配置で行っているほか、スクールサポーターが一部の小学校において一緒に登下校に付き添う形の見守り活動を実施しています。

スクールサポーターとは、警察官 OB などが防犯に関する専門知識を生かして地域や学校の安全に関する助言や指導などを業務としているもので、当署には1人配置されております。

ただ、スクールサポーターだけで管内の学校の通学路はカバーできませんので、今後は、防犯ボランティア、協議会員の皆様とも連携した活動ができればと考えておりますので、お力添えをお願い申し上げます。

6 ○委員 女性（羽島市）

【交通課】

小学生等の通学路において、

時間帯指定通行禁止の道を守らない車両がいる

大型店舗付近で地元以外の車両がスピードを出して通行する

などを見ることがある。

地元の協力で見守り員を出しているが、予防の観点から恒常的でなくとも時折警察官に見守りや取締りをしてもらいたい。

【回答】（交通課長）

改めて現状を確認させていただき、効果的な取り締まり方法等を検討させていただきます。

また、警察官による交通監視だけでなく、見守り員の方と連携した交通安全活動等も検討していきたいと思っております。

7 ○委員 女性（笠松町）

【交通課】

交通危険個所について

- ・ 笠松町の田代信号交差点から東方にある用水路との交差点は中学生の通

学路になるが登校時間帯に交通量が多く危険

- ・ 笠松町長池の交差点から東方にある用水路手前の横断歩道が消えていてわかりづらい
- ・ 長池信号交差点は中学校の通学路であるが、学生が渡るには信号の間隔が短かいのではないかと

【回答】（交通課長）

通学時間帯の交通安全対策としまして、学校と連携した見守り活動や、警察官の姿を見せる街頭監視活動を強化するなど、安全確保に繋げていきたいと考えています。

横断歩道につきましては、現場を確認し道路管理者、警察本部と連携して対応させていただき、早期修繕が可能かどうかを働きかけていきますのでご理解ください。

信号の間隔につきましては、第一に円滑で安全な通行を確保した上で、周囲の交通状況なども総合的に判断して設定されておりますので、今後、改めて現地を確認し調査させていただきます。

8 ○委員 男性（岐南町）

【交通課】

岐南町伏屋 5 ～ 6 丁目地内の県道で自動車同士の衝突横転事故が多発しています。

特に岐南町伏屋 4 丁目地内の交差点は重大重症事故が多発していますが、通学路になっているので信号機の設置を検討してもらえないか。

児童が通る時だけの点滅押しボタン式でもよいので新設することはできないだろうか

【回答】（交通課長）

岐南町伏屋地内の県道では、過去 3 年間で人身事故はありませんが 19 件の物損事故が発生しており、事故が多い路線と言えます。また、岐南町伏屋 4 丁目の交差点では、過去 3 年間で物損事故が 2 件（出会い頭事故）発生している現状です。信号機の設置につきましては、信号機設置の指針に照らし、設置可否を検討させていただきます。

【生活安全課】

不審者への対応について

民間人が不審者を認知した場合は、どう対応すればよいか

【回答】（生活安全課長）

行為者の早期特定などをするため、断片的でもよく、相談という形でもよいので早い段階で警察への通報をしていただきたいと思います。

通報にもとづき、早期に臨場し、対応させていただきます。